

## ほぼ完全な状態の「葺石」が 発見されました!

国指定史跡・生目古墳群にある前方後円墳・生目1号墳で、古墳の表面を覆う「葺石」が、ほぼ建造当時(4世紀頃)の姿のまま発見されました。古墳の平坦面と斜面の縁(角の部分)の石列は崩れやすいため、今回のように当時の姿のまま発掘されるのは、まさに奇跡的。今のところ全国でも確認されておらず、生目1号墳が今後の古墳研究のモデルとなりそうです。



## 城の駅「佐土原いろは館」オープン

2月1日、歴史資料館「鶴松館」の東側に、城の駅が開館しました。公募で決まった愛称「佐土原いろは館」は、江戸時代から地域に伝わる「いろは口説き」にちなんだもの。地元特産品販売や観光情報発信スペース、オリジナルメニューを提供する食堂があり、1月1日～3日を除く毎日、9時～18時に営業します。開館初日は、よろい武者姿の子どもたちの掛け声に合わせてテープカットが行われ、多くの人が買い物などを楽しみました。

# Miyazaki Topics

宮崎市  
旬の話題 “みやトピ”

## 開幕に向けてのスタートは 宮崎から!

宮崎キャンプ57回目を迎えた読売ジャイアンツや、同じく12回目を迎えた福岡ソフトバンクホークス、初キャンプのオリックス・バファローズをはじめ、Jリーグ11チームなど、数多くのプロチームが本市でキャンプを実施。また、昨年日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークスのパレードが行われたほか、県内外から本市を訪れた多くの観客が、数々のイベントや選手のプレーを楽しみました。



渡り初めをしたり、式典に参加したりする人の姿が見られます。

宮崎市制90周年  
みやざきタイムマシン

# 一ツ瀬橋

大正4年



現在の一ツ瀬橋

大正4年(1915年)といえ、旧国鉄が建設していた清武宮崎駅間の線路を宮崎県が借り受けて、宮崎県営鉄道が運行を始めた年。幹線道路がいくつも作られるなど、交通網整備の機運が県全体で高まっていました。写真の一ツ瀬橋が完成したのは、そんな時代の出来事です。

宮崎市佐土原町北部を流れる一ツ瀬川は、いかだや小舟で農作物や木材を運ぶのに利用されており、生活に直結していました。洪水のたびに流れが変わり、農作物が収穫できなくなるほどの被害を及ぼしたこともあって、江戸時代から佐土原藩によって河川改修も行われてきたそうです。

それだけに、橋の完成は当時の人々にとって悲願でした。木の橋脚に板を渡した簡易な作りの木橋でしたが、中州には祝い幕が張られ、人々の喜びようを感じることができました。